

大賞

思い出に 浸ってペんが よく止まる

すみれ  
69歳/愛知県

講評 本当にそうですね!!私もエンディングノートを書き込む時に何度も思い出に耽ってしまいました。遺言書をスラスラ書ける人なんて居ませんよ。(桂ひな太郎さん)

入選

遺言を 書いたはいいが どこいった

ごんぬ  
19歳/岡山県

講評 本当にどこの家にもありそうなこと。遺言書の保管に関する警告としての価値もある作品です。(森永卓郎さん)

入選

訂正印 だらけの父の 遺言書

永井径  
56歳/福島県

講評 あれこれと考えて、書いては直し、書いては直しを繰り返す状況が目につく秀作です。(森永卓郎さん)

入選

あの世とも 出来たらいいね オンライン

ホタル  
68歳/東京都

講評 同感!時流に沿う素敵な川柳です。きっとホタルさんは、あの世にオンラインでつながりたい人がいらっしゃるのでは。遺言書でも、書く人と残される人が互いに思いを馳せることでオンラインみたくつながるといいですね。(佐山和弘さん)

佳作

AIじゃ 書けない愛の 遺言書

リン  
44歳/滋賀県

恋文に 似た感ありき 遺言状

恋文子  
52歳/愛知県

遺言書 読めば親父の 声がする

MS  
61歳/千葉県

相続の 家族会議も オンライン

もえぴーの夫  
60歳/東京都

叙勲無し けれど遺贈に 名を刻む

松風  
75歳/東京都

人生の 感謝のしるし 遺贈寄付

アオキテラヒ  
57歳/埼玉県

総評 「遺言は愛の言葉」のテーマにふさわしい佳句が多く寄せられたと思います。川柳は森羅万象何でも詠むことができる魔法のような文芸ですが、どの句もその川柳の魅力が遺憾なく発揮されていると思います。私自身も「ゆいごん川柳」の選を通じて、改めて人生をポジティブにとらえ直すよい機会になりました。(全日本川柳協会)